



STEP4 課題研究を深める



評価と振り返り

自分が行っている研究や SSH 活動について定期的に振り返り、これまでの活動を評価し、今後の活動を深めていきましょう。

評価には、次に示したループリック(目標達成度を評価する基準表)を用います。評価項目で該当するものに☑をします。☑の数をもとにし、自分がどの到達レベルにあるか評価しましょう。全員の目標はレベルAに定めています。

ループリック

視 点	評 価 項 目 (20項目)
ノート活用 (3項目)	<input type="checkbox"/> M-STEP ノートを課題研究に活用できている。 <input type="checkbox"/> M-STEP ノートを自己の記活動録として活用できている。 <input type="checkbox"/> 様々な場面で M-STEP ノートを活用し、多くの情報を記録している。
課題研究 (10項目)	<input type="checkbox"/> 課題研究のサイクルを実行し、自らの研究を深める姿勢が表れている。 <input type="checkbox"/> 先行研究や参考文献など、常に自らの研究に関する情報を集め記録をしている。 <input type="checkbox"/> 仮説検証実験の基本情報が記載されている。(日付、天候、方法、結果、考察など) <input type="checkbox"/> 仮説検証実験の内容がきちんと整理されて記載されている。 <input type="checkbox"/> 表や図などを用いて、記載項目が記録されている。 <input type="checkbox"/> 詳細に使用した薬品や機器、調べた文献など、詳細に記録され、再現性がある記録されている。 <input type="checkbox"/> 各種大会(地域・全国レベル)に出場し成果を発表した。 <input type="checkbox"/> 実験や検証などについて、考察がなされている。 <input type="checkbox"/> 事前・事後の研究との関連付けがあり、継続性がある研究がなされている。 <input type="checkbox"/> 具体的な課題テーマと、その仮説に対する模索が多数記録されている。
各種行事 (5項目)	<input type="checkbox"/> 各種行事の感想などを貼付するなど、いろいろなことについて記録を残している。 <input type="checkbox"/> 各項目の内容が正しく記載されており、かつ、自らの気づきが記入されている。 <input type="checkbox"/> 課題研究のテーマ発見、解決につながるアイデアが記録されている。 <input type="checkbox"/> 行事の内容記録だけでなく、関連情報など自らの活動に繋がる記録がなされている。 <input type="checkbox"/> 日常で考えたことや、気づき、考察などを記録している。
その他記録 (2項目)	<input type="checkbox"/> 自らの興味・関心を高めた出来事などについて、進路志望に繋がる記録がなされている。 <input type="checkbox"/> 進路志望に繋がるような、学問分野・研究などについて記録されている。

レベル ループリックの評価項目について、☑がついた項目の数

S	16～20項目に☑がついた	さらなる高みを目指しましょう。
A	11～15項目に☑がついた	順調に進んでいます
B	6～10項目に☑がついた	成長段階、さらにステップアップ
C	0～5項目に☑がついた	基本が身につけています

評価

ループリックで☑が付き項目数でレベルS~Cの評価をします。自己反省を記入し、他者からの評価とコメントを記入してもらいましょう。そして今後の活動の計画を立て直そう。

評価した日	自己評価		他者からの評価		
	☑の数 レベル	反省など	☑の数 レベル	評価者	コメント
年 月 日	☑の数 レベル		☑の数 レベル		
年 月 日	☑の数 レベル		☑の数 レベル		
年 月 日	☑の数 レベル		☑の数 レベル		
年 月 日	☑の数 レベル		☑の数 レベル		
年 月 日	☑の数 レベル		☑の数 レベル		
年 月 日	☑の数 レベル		☑の数 レベル		
年 月 日	☑の数 レベル		☑の数 レベル		
年 月 日	☑の数 レベル		☑の数 レベル		
年 月 日	☑の数 レベル		☑の数 レベル		
年 月 日	☑の数 レベル		☑の数 レベル		
年 月 日	☑の数 レベル		☑の数 レベル		

STレII 「課題研究」ルーブリック評価(プロセス編)

領域	評価観点	評価尺度				0	評価(各項目点数)		
		5	4	3	2		1	第1回黒 (/)	第2回青 (/)
テーマ設定	先行研究調べ	研究テーマに関連する先行研究の文献や資料を想定を超えた範囲まで丹念に調べており、研究に関する広範囲な情報を得ている。	研究テーマに必要な先行研究の文献や資料を十分に調べ、研究の進捗を速行している。	研究テーマに必要な先行研究の初歩的な文献や資料を調べ、何かが研究されているのかをおおむね把握している。	求められているレベルを達成できていないが、幾分の努力が認められる。	求められているレベルを達成するには大きな課題がある。			
	課題意識と発展性	先進的/現代的な課題意識でテーマ設定がなされており、今後の研究により学術的、社会的な問題解決へと発展していく可能性が高い。	学術的、社会的な課題意識をもち、研究テーマが考案されており、今後の研究に期待される。	学術的、社会的な課題意識をもち、研究テーマを考案しており、必ずしも目新しい発想というわけではない。	学術的、社会的な課題意識をもち、研究テーマに必要十分な背景設定で、単なる思いつきによるテーマ設定である。	この項目の評価は、本課題研究には適していない。			
研究方法	計画・準備と進捗状況	データ収集、分析、原稿作成などの実施時期や方法を担当教員に相談・報告し、研究を主体的に進捗させている。	データ収集、分析、原稿作成などの実施時期や方法を担当教員と相談し、進捗を把握している。	データ収集、分析、原稿作成などの実施時期や方法を担当教員と相談し、若干の遅れはあってもおおむね計画どおりに進んでいる。	実施上の日程計画や方法に關する十分でないため、見直しを待たないままその場の成り行きで行っている。	この項目の評価は、本課題研究には適していない。			
	研究方法の妥当性	研究目的を達成するための、緻密で発想に富んだ研究方法が考案されている。	研究目的を達成するために、現実性のある研究方法が具体的に考えられている。	研究目的に照らして研究方法を検討しているが、方法の実行可能性については、さらに検討していく必要がある。	研究方法は考えているが、研究目的を達成するためにには検討が不十分である。	この項目の評価は、本課題研究には適していない。			
取組状況	好奇心・興味関心・探究心	確固たる課題意識から研究に着手し、強い好奇心で研究を進めている。そのため研究テーマを深く探究し、関連事項にも課題意識が広がっている。	自らの課題意識から研究に着手し、興味からさらに深まっている。また、研究テーマの探究を行ったことで関連事項にも興味と関心が広がっている。	研究を進めるにつれて興味を抱く事柄に出会えたため、関心をもつて研究テーマに取り組んでいる。	研究を進める中で、自分が興味を抱く事柄を見出すことができていない。または、研究テーマを探究する意欲に欠ける。	この項目の評価は、本課題研究には適していない。			
	創意工夫・オリジナリティ	豊富な先行研究を踏まえた上で、調べた資料やデータから独創性のあるアイデアを導き出している。	先行研究を踏まえた上で、調べた資料やデータを自分なりに解釈し、独自の視点で分析している。	調べた資料やデータに独自の視点で解釈し、先行研究と無理やり関連づけたりしている。	調べた資料やデータの単なる羅列であったり、先行研究の真実を追求してはいない。	この項目の評価は、本課題研究には適していない。			
協働性	役割分担と協力	自分の役割を積極的に果たしながら、他のメンバーの手助けを行い、グループ研究で円滑に研究を進めている。	自分の役割を十分果たすとともに、建設的な意見を出すと、グループ研究に貢献している。	自分の役割はおおむね果たしているが、他のメンバーへの寄与はそれほど大きくない。	自分の役割を果たさず、グループの他のメンバーに頼りきりである。	この項目の評価は、本課題研究には適していない。			
合計点									
<p>それぞれの項目を○で囲み、評価欄に点数を記入し、提出する。1回目は黒、2回目青、3回目赤で記入すること。</p>									



さまざまな SSH 活動の記録 (校外研修など)

日付： 年 月 日 曜日 時間

行事名：

内容：

気づき

日付： 年 月 日 曜日 時間

行事名：

内容：

気づき

日付： 年 月 日 曜日 時間

行事名：

内容：

気づき

日付： 年 月 日 曜日 時間

行事名：

内容：

気づき

日付： 年 月 日 曜日 時間

行事名：

内容：

気づき

日付： 年 月 日 曜日 時間

行事名：

内容：

気づき

日付： 年 月 日 曜日 時間

行事名：

内容：

気づき

日付： 年 月 日 曜日 時間

行事名：

内容：

気づき



自由記録

これ以降は資料を張り付けたり、メモをとったり、協議に使ったりなど自由に活用していきましょう。

自由記載ページ

参考資料

- 小泉治彦（2010）「理科課題研究ガイドブック」株式会社正文社
- 桑田てるみ（2012）「中学生・高校生のための探究学習スキルワーク」公益社団法人全国学校図書館協議会
- 長崎県立図書館ホームページ <http://lib.city.nagasaki.nagasaki.jp/>
- アットバイヤーズサーチホームページ <http://search.at-buyer.com/index.html>
- 独立行政法人科学技術振興機構ホームページ <https://ssh.jst.go.jp/research/list>
- 岡本尚也（2017）「課題研究メソッド」啓林館
- 野島高彦（2017）「実験ノートの書き方」化学同人
- ダネル・スティーブンス+アントニア・レビ（2016）「大学教員のためのルーブリック評価入門」玉川大学出版部
- 愛媛大学課題研究評価ルーブリック（フルバージョン） Ver.1.0
<http://ap.hi.ehime-u.ac.jp/pages/files/2019process.pdf?1902181903>



製作・製本・発行・著作

長崎県立長崎南高等学校

平成25年度 SSH 第1期指定

平成30年度 SSH 第2期指定

SSH 研究開発部・図書研修部・長崎南高等学校学而館（図書館）

※複製・利用される場合は長崎南高校の承諾が必要です

2018年3月 発行・改訂

2019年3月 2訂版発行

2020年3月 3訂版発行

2021年3月 4訂版発行

2022年3月 5訂版発行